



## 第22回北勢線の魅力を探る

# 蓮花寺から北別所の里山を歩く

在良駅～くわなメディアライヴ(西桑名駅) 約10K

在良駅—宇賀神社—蓮花寺—白山神社—鉄塔のみち—慈航寺—  
藤が丘デザイン公園—西方寺—聖衆寺—三崎踏切—(西桑名駅)  
—くわなメディアライヴ

### ① 宇賀神社

宇賀神社は正親町天皇(1557～85)以前に鎮座していたと伝えられる。祭神は五穀豊穡の神様、宇迦御魂神(うがみたまのかみ)。戦国時代、この地を支配していた後藤氏の崇敬を受ける。

### ② 総仏山蓮花寺

昔、総仏堂と称した説教所であった。真宗大谷派、本尊は阿弥陀如来。寛永2年(1625)毛利恵鏡の先代が建立。嘉永6年(1853)准如上人が改築。梵鐘に、藤原町の中里ダム建設のために移転した旧員弁郡中里村の薬王庵の什物であったことが刻まれている。

### ③ 白山神社

主祭神は菊理姫命、境内社として天王社・八天宮が祀られている。戦国時代、城山城主の内山源吾正則の厚い崇敬を受けた。昭和45年に境内地の整備、本殿・拝殿の造営。

### ④ 鉄塔のみち

東名阪自動車道の下を潜る山道は、頂上に携帯電話会社のアンテナが立っていて、「鉄塔のみち」と名付けた。途中、幅が狭く頂付近ははやや厳しい登り。下りの階段は不揃いで注意が必要。

### ⑤ 大蓮山慈航寺

真宗大谷派、本尊は阿弥陀如来。寛永18年(1641)長島町千倉に創立。太平洋戦争後、住職の佐々木氏が西藤氏に譲って転出されたため、それまでの寺伝は不明。平成2年、長良川の改修工事によって、この地に移転。山号は「佐々木山」から土地に因み大蓮山と改称された。本堂の前に置かれた旧梵鐘は、太平洋戦争の金属供出に遭い、四日市の石原産業に運ばれて検査された跡が残っている。

### ⑥ 藤が丘デザイン公園

沢山の花木が植わっており、1年中楽しめる場所である。特に桜は種類も多く長い期間花見ができる桜の名所である。入口のシンボルモニュメントは平成2年に大阪鶴見緑地で開催された「国際花と緑の博覧会」のものである。

### ⑦ 阿弥陀堂西方寺

浄土真宗本願寺派。もと西方にあった阿弥陀堂が寺格を得て創建。その後、市道の拡張工事によって、この地に移転。

### ⑧ 土佛山聖衆寺

真言宗醍醐派、本尊は阿弥陀如来。建仁4年(1204)の創建、織田信長の兵火に遭い焼失。天和2年(1682)元瓦師の信行が土を焼いて本尊を造立し、寺を再興。この阿弥陀材像は今年1月、桑名市の有形文化財に指定された。

### ⑨ 三崎踏切

線路幅が異なる3つの鉄道線路を渡る日本で唯一の踏切。正式名称は、西側の近鉄名古屋線は「益生第4号踏切」、標準軌の1435mm。中央のJR関西線は「構内踏切」、狭軌の1067mm。東側の三岐鉄道北勢線は「西桑名駅第2号踏切」、特殊狭軌の762mm。特にナロゲージと呼ばれる762mmの軌道は珍しく、一般的な営業路線としては、北勢線以外では内部線、八王子線のみ。

2019年2月発行 北勢線の魅力を探る会

(北勢線活性化及びまちづくり活動補助金をいただいて作成)

